

胆管がん事案を契機とした職場における今後の化学物質対策 (平成25年度概算要求を検討中)

課題

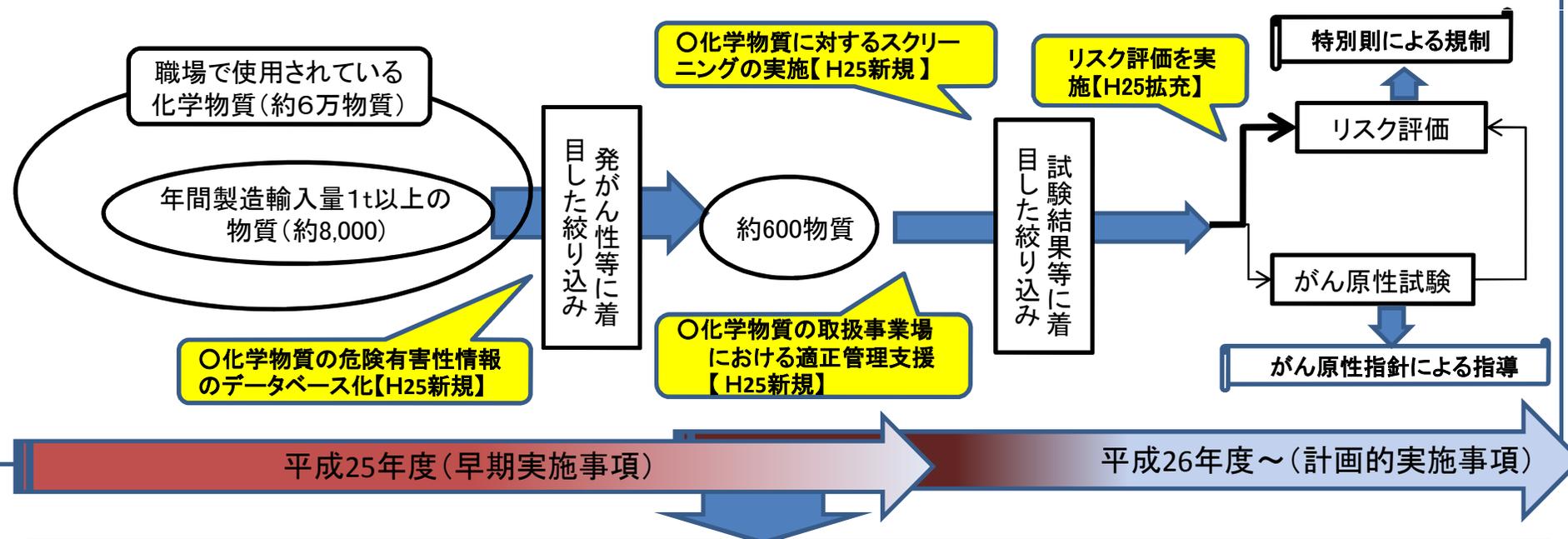
胆管がんの事案を契機として、職場における発がん性物質による労働者の健康障害防止対策をスピーディに展開することが必要。

対策の内容

発がん性に重点を置いた化学物質の有害性評価の加速
～既存化学物質評価10力年計画(CAP10)～

○平成25年度概算要求を検討中

1. 収集した危険有害性情報、IARCの知見及び変異原性試験の結果を活用し、専門家により発がん性リスクから優先的に取り組む物質をスクリーニング。更に、職場での労働者へのばく露実態を踏まえた絞り込み
2. 選定された物質を詳細なリスク評価、又はがん原性が明らかになっていない物質はがん原性試験を実施し、試験に応じ、規制対象物質へ移行



発がんリスクのある化学物質対策を徹底し、健康で安心できる職場環境の整備